成果と課題及び指導改善のポイント

中学校社会（中学１年生、中学２年生）

中学１年生で成果が見られた設問（◇）と課題が見られた設問（◆）及び 出題の趣旨

◇ 資料から、東京から見た４か国の首都までの距離及び方位を読み取ることができる　設問1(2)

◇ 資料から、中国で作られている農作物の分布と年降水量の関係を読み取ることができる　設問1(5)

◆ キャンベラの気温を示すグラフを選択し、選択した理由を説明することができる　設問1(4)

◆ 四大文明が起こった時期が、日本の縄文時代に当たることを、その時代の特徴とともに理解している　設問3(2)

中学２年生で成果が見られた設問（◇）と課題が見られた設問（◆）及び 出題の趣旨

◇ 資料を基に、モーダルシフトの取り組みの特徴とねらいを説明することができる　設問2(3)

◇ ヨーロッパの国々の海外進出が、当時の日本に与えた影響を理解している　設問4(4)

◆ 16 世紀にヨーロッパで起こった、ルターらによるキリスト教の大変革が、宗教改革であることを理解している　設問4(1)

◆ 資料を基に、豊臣秀吉の政策が室町時代から続いた社会をどのように変えたのか、農民を例に説明することができる　設問5(4)

中学校社会の課題に対応した指導改善のポイント（☑してみましょう。）

■用語・語句などを含めた個別の事実等に関する知識を活用する設問や、資料から読み取った情報を基に、社会的事象の意味や意義、特色などについて比較したり関連付けたりして説明する設問に課題が見られました。これらの課題を解決するために、「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえて、授業を改善することが大切です。

□生徒が基礎的・基本的な知識を習得できるように、知識を羅列的に伝えるのではなく追究する課題を設定した上で、共通点や相違点、相互の関連、原因、結果、影響などについて自分なりの言葉でまとめる学習活動を設定している。

□生徒が諸資料を基に社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を様々な視点や立場から考察し、考察した結果を説明できるように、「位置や分布」「場所」「時期や年代」「推移」などの追究の視点や、「比較する」「多面的・多角的に見る」などの方法を明示した上で、ペアやグループで対話する学習活動を設定している。

☞ 正答表とセットになった「指導改善のポイントが分かる資料」も、併せてご覧ください。

令和４年度 佐賀県小・中学校学習状況調査　　中学校調査
設問別調査結果[社会] １年
中学校－生徒

集計結果　　※「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準	到達状況
				54.5	▼
県	6,293	51.4	5.6		

※ 県の結果には，「未習：１なし」かつ「集計対象：１対象」で入力された児童生徒の調査結果が反映されています。

分類・区分別集計

分類	区分	対象設問数（問）	正答率	県	無解答率	県	到達基準	到達状況
学習指導要領の内容・領域等	世界と日本の地域構成	4		55.5		2.4	57.5	▼
	世界の諸地域	6		56.5		5.8	56.7	▼
	私たちと歴史	1		44.9		6.5	50.0	▼
	古代までの日本	9		47.0		6.8	52.2	▼
評価の観点	知識・技能	16		56.6		3.3	59.4	▼
	思考・判断・表現	4		30.7		14.8	35.0	▼
問題形式	選択式	10		61.5		0.9	59.0	
	短答式	6		48.4		7.2	60.0	▼
	記述式	4		30.7		14.8	35.0	▼

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため，それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は，実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等							評価の観点					問題形式			正答率	県	無解答率	県	期待正答率	課題が見られる設問
			世界と日本の地域構成	世界の諸地域	私たちと歴史	古代までの日本				知識・技能	思考・判断・表現				選択式	短答式	記述式						
1	(1)	アメリカ合衆国が，北アメリカ州に属していることを理解している	○							○						○			59.3		2.9	70	○
1	(2)	資料から，東京から見た４か国の首都までの距離及び方位を読み取ることができる	○							○					○				82.1		0.3	60	
1	(3)	資料から，日本と４か国の首都の時差を読み取ることができる	○							○					○				61.4		0.5	50	
1	(4)	キャンベラの気温を示すグラフを選択し，選択した理由を説明することができる	○								○						○		19.2		5.8	50	○
1	(5)	資料から，中国で作られている農作物の分布と年降水量の関係を読み取ることができる		○						○					○				72.5		0.7	60	
2	(1)	東南アジアの国々が地域統合の促進のため結成した組織が，ＡＳＥＡＮであることを理解している		○						○						○			49.2		9.6	60	○
2	(2)	ＥＵの共通通貨が，ユーロであることを理解している		○						○						○			73.1		9.2	70	
2	(3)	ヨーロッパで主に行われている３種類の農業の分布を理解している		○						○					○				47.1		1.0	60	○
2	(4)	資料を基に，ＥＵの工業の特色を説明することができる		○							○						○		34.9		13.2	30	
2	(5)	資料から，ＥＵ加盟国の加盟時期と一人当たりの国民総所得の関係及びＥＵの課題を読み取ることができる		○						○					○				62.5		1.0	60	
3	(1)	メソポタミア文明で発明された文字が，くさび形文字であることを理解している				○				○						○			41.1		13.3	60	○
3	(2)	四大文明が起こった時期が，日本の縄文時代に当たることを，その時代の特徴とともに理解している				○				○						○			23.1		1.5	50	○
3	(3)	資料を基に，エジプト文明が起こった地域で農業が盛んになった理由を説明することができる				○					○						○		31.9		14.4	30	
4	(1)	前方後円墳の分布が，ヤマト王権（大和政権）による地方豪族の支配と関連することを理解している				○				○					○				62.8		0.7	60	
4	(2)	資料を基に，白村江の戦いのあとに西日本の各地に山城が築かれた理由を説明することができる				○					○						○		36.7		25.7	30	

設問別集計結果

問題番号		出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等							評価の観点					問題形式			正答率		無解答率		期待正答率	課題が見られる設問
			世界と日本の地域構成	世界の諸地域	私たちと歴史	古代までの日本				知識・技能	思考・判断・表現				選択式	短答式	記述式		県		県		
4	(3)	風土記の特徴を理解している				○				○					○				49.7		1.0	60	○
4	(4)	全国各地に国分寺や国分尼寺が置かれた理由を理解している				○				○					○				52.1		1.2	60	○
5	(1)	飛鳥時代と奈良時代について，それぞれの文化を代表する事物を理解している				○				○					○				55.3		1.3	60	○
5	(2)	世紀の表し方を理解している			○					○						○			44.9		6.5	50	○
5	(3)	国風文化が生まれた背景を理解している				○				○					○				69.8		1.6	60	

令和４年度 佐賀県小・中学校学習状況調査　　中学校調査
設問別調査結果［社会］２年
中学校－生徒

集計結果　　※「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準	到達状況
				53.5	▼
県	6,579	44.9	8.2		

※ 県の結果には，「未習：１なし」かつ「集計対象：１対象」で入力された児童生徒の調査結果が反映されています。

分類・区分別集計

分類	区分	対象設問数（問）	正答率	県	無解答率	県	到達基準	到達状況
学習指導要領の内容・領域等	世界の諸地域	3		48.3		7.8	56.7	▼
	日本の地域的特色と地域区分	4		55.0		3.1	55.0	
	日本の諸地域	2		48.9		10.8	45.0	
	中世の日本	1		72.9		0.5	60.0	
	近世の日本	10		36.3		10.6	53.0	▼
評価の観点	知識・技能	16		46.9		5.8	58.1	▼
	思考・判断・表現	4		36.8		17.7	35.0	
問題形式	選択式	12		53.6		0.7	58.3	▼
	短答式	4		26.7		21.1	57.5	▼
	記述式	4		36.8		17.7	35.0	

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため，それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は，実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等							評価の観点					問題形式			正答率	県	無解答率	県	期待正答率	課題が見られる設問
			世界の諸地域	特色と区分	日本の諸地域	中世の日本	近世の日本			知識・技能	思考・判断・表現				選択式	短答式	記述式						
1	(1)	オーストラリアの先住民が，アボリジニであることを理解している	○							○						○			21.4		22.8	60	○
1	(2)	資料から，オーストラリアへの移民の出身地の変化を読み取り，移民受け入れの政策を理解している	○							○					○				69.6		0.2	60	
1	(3)	資料から，日本の石炭の生産量や輸入量などを読み取ることができる	○							○					○				53.8		0.3	50	
2	(1)	日本の七地方区分を理解している		○						○					○				47.3		0.2	60	○
2	(2)	工場の立地条件について，工業製品の特徴や交通網と関連付けて理解している		○						○					○				62.1		0.3	50	
2	(3)	資料を基に，モーダルシフトの取り組みの特徴とねらいを説明することができる		○							○						○		59.8		11.6	40	
3	(1)	川の河口部に見られる土砂が積もってできた地形が，三角州であることを理解している		○						○					○				50.7		0.4	70	○
3	(2)	瀬戸内地方の気候の特色を理解している			○					○					○				66.7		0.4	60	
3	(3)	資料を基に，倉敷市に石油化学コンビナートが作られた理由を説明することができる			○						○						○		31.1		21.2	30	
4	(1)	16世紀にヨーロッパで起こった，ルターらによるキリスト教の大変革が，宗教改革であることを理解している					○			○						○			27.1		26.0	50	○
4	(2)	資料を基に，ポルトガルなどのヨーロッパの国々がアジアへの新航路を開拓した目的を説明することができる					○				○						○		32.8		16.8	40	○
4	(3)	大航海時代に開拓された新航路とその航海者を理解している					○			○					○				52.8		0.6	60	○
4	(4)	ヨーロッパの国々の海外進出が，当時の日本に与えた影響を理解している				○				○					○				72.9		0.5	60	
5	(1)	名護屋城築城の目的が，朝鮮出兵の拠点とするためであったことを理解している					○			○						○			18.3		15.9	50	○
5	(2)	豊臣秀吉の政策が，当時の日本文化の形成に与えた影響を理解している					○			○					○				47.0		0.9	60	○

設問別集計結果

問題番号		出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等								評価の観点					問題形式			正答率		無解答率		期待正答率	課題が見られる設問
			世界の諸地域	特色と区分	日本の諸地域	中世の日本	近世の日本				知識・技能	思考・判断・表現				選択式	短答式	記述式		県		県		
5	(3)	豊臣秀吉が行った武士と農民の身分の区別を明確にする政策が，兵農分離であることを理解している					○				○						○			40.2		19.7	70	○
5	(4)	資料を基に，豊臣秀吉の政策が室町時代から続いた社会をどのように変えたのか，農民を例に説明することができる					○					○						○		23.6		21.4	30	○
6	(1)	江戸時代の商業の発達の様子を理解している					○				○					○				39.8		1.3	60	○
6	(2)	江戸時代の対外関係を理解している					○				○					○				38.2		1.2	60	○
6	(3)	資料から，江戸時代の交通の様子を読み取ることができる					○				○					○				42.7		1.7	50	○